



9年間を一体と捉えた教育に向けて

本市では幼児期から高校までの教育が円滑に接続されるように、校種間の連携の充実を図ることを指導の目標の一つとしています。特に小・中学校間の接続については、育てたい子ども像を共有



し、9年間を見通した学びの系統性・連続性を重視する「小中一貫教育」を推進しています。

先週、浦賀中、浦賀小、高坂小、大塚台小の教員が本校に一堂に会し、学校間で情報共有を行う場を設定しました。これら浦賀中学校ブロックの

小中一貫教育の取組を通して、子ども達の学びと成長を9年間で見守り、支えていきたいと考えています。そしてブロックのテーマを、『主体的に「人」「もの」「こと」に関わることができる子どもの育成を目指して』と設定しました。



このテーマには、授業の中だけでなく、学校生活のいろいろな場面で、子ども達が自分から周りに目を向け、進んで関わってほしいという願いが込められています。

「人」「もの」「こと」との関わりって？

「人」と関わるとは、友達や先生、地域の方々とのつながりの中で、困っている人に気付き、やさしく声をかけたり、手助けしたりする姿のことです。相手の気持ちを考えながら関わることも大切にしています。



「もの」と関わるとは、教材や教具、自然、実験器具などに興味をもち、「どうしてだろう」「やってみよう」と考えながら、試したり工夫したりする姿のことです。この姿は、自分から

学びを広げていく力につながっていきます。



「こと」と関わるとは、学校や地域で起こる出来事、行事、季節の変化、社会の話題などに目を向け、その



意味や理由を考える姿のことです。「なぜこうなるのかな」「これからどうなるのかな」と考えることも、その一つです。

本年度は、このテーマをもとに、各校で子ども達の姿を共有しながら、よりよい指導につなげていきます。小学校から中学校への学びのつながりを大切に、それぞれの発達段階に応じた支援や工夫を進めていきます。



また、お互いに授業を見合う機会や協議会などを通して、教職員同士が学び合



いながら、よりよい教育活動を目指していきます。子ども達が自分で考え、行動し、友達や周りの人と関わりながら成長していけるよう、学校全体で取り組んでいきたいと思います。

子ども達の成長は、学校と家庭が力を合わせることで、より豊かなものになります。毎日の学校生活の中で見られる小さな成長や変化にも、ぜひ目を向けていただければ幸いです。

みなさん、はじめまして!

昨日、たてわり活動「はじめましての会」が行われました。この活動は、異学年の児童が自己紹介やゲームを通して互いの名前や顔を知り、これからの交流を深めるきっかけをつくるものです。新しいたてわり班での出会いを通して、子どもたちが安心して関わり合い、少しずつ仲を深めていけるようにしたいと考えています。



当日は、6年生が1年生を迎えに行き、各班に分かれて活動します。上級生が下級生を気づかいながら進めることで、思いやりや責任感を育むことにもつながります。また、名札づくりや名前を覚えるゲームなどを通して、「一緒に活動する仲間」としてのつながりを実感できるように計画しました。



たてわり活動は、年間を通して行う大切な取組です。学年を超えて関わる中で、相手を思いやる気持ちや、協力して取り組む姿勢が自然に育っていくことを期待しています。子どもたちにとって、学校生活がより楽しく、あたたかなものになるよう、今後も丁寧に支援していきたいと思います。